



令和9年度



学 生 募 集 要 項

学 校 推 薦 型 選 抜 I

法 文 学 部
教 育 学 部
医 学 部
工 学 部
農 学 部
水 産 学 部
共同獣医学部

入学者選抜実施日程

インターネット出願 登録及び入学検定料 等支払い手続き期間	令和8年10月26日（月）9時～11月5日（木）17時
出 願 期 間 （出願書類等の提出）	令和8年11月2日（月）～11月5日（木）17時必着 ※提出は郵送のみ
選 抜 実 施 日	令和8年11月17日（火）
合 格 者 発 表 日	令和8年12月4日（金）10時（予定）
入 学 手 続 期 間	令和8年12月4日（金）～12月11日（金）17時必着

やむを得ない事由によって、本要項の記載とは異なる日程、方法等で選抜を実施することがあります。
変更となる場合は決定次第、本学ホームページで公表いたします。

鹿 児 島 大 学

目 次

	頁
インターネット出願について・入試成績開示を希望する方へ	1
大学憲章	2
教育目標、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
I 募集人員、対象となる高等学校の学科等及び推薦人員	9
II 出願資格等	10
III 入学者選抜方法	12
IV 教育学部の実技検査	15
V 採点・評価基準	17
VI 合否判定基準	20
VII 出願手続	21
VIII 受験上の注意	25
IX 合格者発表	27
X 入学手続	27
XI 入学準備	28
XII 他の選抜への出願等について	29
XIII 個人情報の取扱いについて	29
XIV 入試情報開示	30
XV 障害等のある入学志願者の事前相談	31
XVI 学生寮、入学料・授業料免除、入学料徴収猶予及び奨学金等	32

インターネット出願について

鹿児島大学では、インターネットによる出願手続を行っています。学生募集要項の「出願手続」のページをよく確認し、以下の流れにそって、出願情報の登録を行った後、入学検定料及び成績開示請求手数料（以下「入学検定料等」という。）の支払いを済ませたうえで、出願書類を鹿児島大学に送付してください。

インターネット出願の流れ

STEP 1 選抜区分の 確認

学生募集要項で、受験希望の学部・学科等の出願条件・検査科目・出願期間や検査日等を確認してください。

※事前に準備が必要な書類もありますので必ずご確認ください。



STEP 2 出願情報の 登録

パソコン又はスマートフォンから本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願について」にアクセスし、注意事項等をよくご確認ください。うえ、ネット出願登録サイトより出願情報の登録を行ってください。

※登録内容：選抜区分/志望学部・学科等/氏名・連絡先等の個人情報 など



STEP 3 入学検定料等 の支払い

入学検定料等の支払い方法を選択し、期限までにお支払いください。

※支払方法：クレジットカード/ネットバンキング/コンビニ/ATM(ペイジー)

※支払い手順の詳細は本学ホームページをご確認ください。

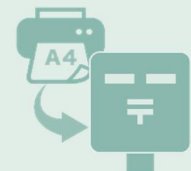
(URL : <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>)



STEP 4 出願書類の 印刷と郵送

出願確認票・宛名ラベルを、ネット出願登録サイトの「申し込み一覧」からA4で印刷し、各種必要書類とともに宛名ラベルを貼った角形2号封筒に入れて、出願期間に間に合うように郵送してください。

※複数の選抜区分に出願する際は必ず区分ごとに封筒を分けてください。



出願期間

本学で出願書類の受付を行います。

※受付状況はネット出願登録サイトの「申し込み一覧」で確認可能です。書類の受理後は「受付状況：受付済」と表示されます。

検査前

学生募集要項に記載の受験票印刷可能日時以降に、「申し込み一覧」から受験票を各自で印刷し、検査当日に必ず持参してください。

※受験案内も必ずご確認ください。

入試成績開示を 希望する方へ

入試成績開示は翌年度5月にオンライン上で行います（郵送ではありません）

☑ 入試成績開示請求は出願時の登録及び成績開示請求手数料の払い込みが必須です。出願後の開示請求はできませんのでご注意ください。

☑ 成績開示専用サイトへのログインの際に受験番号・生年月日・出願時に発行されるセキュリティコードが必要となりますので、紛失のないようご注意ください。



インターネット出願に関する各種情報は「本学ホームページ」及び「本学公式LINE」で随時お知らせしますので確認してください。

URL : <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>



鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教 育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研 究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日 制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

鹿児島大学は、教育目標に定める「進取の精神」を有する人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標を理解し、それを実現できる基礎学力と自身の成長のために修学しようという意欲がある人
2. 地域／グローバル社会の多様性を理解し、さまざまな相手や状況に応じたコミュニケーションの必要性を認識している人
3. 地域／グローバル社会の一員であることを自覚し、社会の課題解決に向けて貢献する意志のある人
4. IT 革命から AI 革命へと進展する現代社会において、学術的方法を通じて多様な情報を批判的に検証・精査し、新たな知の探究・創出を目指す人

このような学生を適正に選抜するために、学部の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

各学部の教育目標、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法 文 学 部

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探究する意欲のある人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校において学習した、以下のような教科を中心とした幅広い基礎学力

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、面接及び小論文の総合得点に基づいて、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探究する意欲について、総合的に評価します。

※ 学科・コースのアドミッション・ポリシーについては、以下の法文学部ホームページを参照してください。
<https://kadai-houbun.jp/exam-2-2/#admission>

教 育 学 部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて、教育学部では、次のような人材の育成を目標とします。

学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教員

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教員」の育成を目的としています。

このようなことから、次のような人を求めています。

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
- (2) 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- (3) 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- (4) 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- (5) 自分の人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢

3 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、小論文、実技検査、面接及び調査書の中から、学科ごとに定められた検査等の成績の総合得点により行い、幅広く豊かな学力と専門性を有し、教員になる意志と情熱をもっている人を評価します。

※ 課程・コースのアドミッション・ポリシーについては、以下の教育学部ホームページを参照してください。
<https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/about/教育目標と方針/>

医 学 部

教育目標

医学部は、全人的医療を实践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 思いやりのある人
- (2) 幅広い基礎知識を有する人
- (3) 人の生命や地域／グローバル社会に深い関心をもつ人
- (4) 探究心があり、物事に積極的に取り組む人
- (5) AIなどの革新的技術を柔軟かつ適切に活用する意欲を持つ人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 基礎的な学力
- (2) コミュニケーション能力
- (3) 医療への関心
- (4) 人を思いやる心
- (5) 物事に対する責任感
- (6) 探究心
- (7) 論理的な思考力

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、保健学科看護学専攻、理学療法学専攻及び作業療法学専攻において、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定します。

※ 学科・専攻のアドミッション・ポリシーについては、以下の医学部ホームページを参照してください。
(保 健 学 科) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/about/policy/>
(看 護 学 専 攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/nursing/feature/>
(理学療法学専攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/physical-therapy/feature/>
(作業療法学専攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/occupational-therapy/feature/>

工 学 部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士(工学)」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

- 1 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。
- 2 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
- 3 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
- 4 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
- 5 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語、情報などの基礎学力のほか、特に各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストを免除し、個別テスト等で面接などを課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

※ 学科・プログラムのアドミッション・ポリシーについては、以下の工学部ホームページを参照してください。
<https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/faculty/goal/>

農 学 部

教育目標

多様な自然環境と生物資源に恵まれた鹿児島県の地域特性を活かした主体性重視の実践教育及び分野横断型農学DX教育により、我が国の持続可能な農林食産業の発展と地域の課題解決に農学総合力と専門性を持って果敢に取り組み、新時代を自ら切り拓くことができる人材の育成を目標とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

- (1) 農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍を目指す意欲のある人
- (2) 自然科学の幅広い知識と英語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
- (3) フィールドや生産現場での技術・研究に強い関心を持ち、農林業及び食品生命科学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
- (4) 多様で持続的な社会の構築に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、情報などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力を身につけていることが望ましいです。

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、農学関連分野への意欲と勉学・研究への潜在能力が高い学生及び多様な社会の構築に関心の高い学生を受け入れるため、小論文、面接又はプレゼンテーションに基づいて総合判定し選抜します。

水産学部

教育目標

水産学部は専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備えた水産技術者を社会に送り出すために、以下の教育目標を掲げます。

- 1 鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得した人材の育成
- 2 豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画する人材の育成
- 3 地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材の育成

入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 海洋環境や水圏の生物に興味を持ち、水産業の基盤である海洋環境や水圏に生息する生物の特性と両者の相互作用についての基礎科学を学び、学校教育や環境教育の現場あるいは海洋環境と生物に関する調査・保全に関わる機関で働きたい人
- (2) 水産資源の生産管理や増養殖に興味を持ち、水産資源とその採捕・管理及び増養殖に関する理論と技術について学び、漁業技術産業、増養殖産業あるいは水産資源の開発・管理や増養殖に係る公的機関で働きたい人
- (3) 水産食品や水産資源の先進利用に興味を持ち、水産資源の食品としての利用と機能性化成品などへの先進的な利用について学び、食品・化学品製造業及び製菓業ならびにそれらの関連分野で働きたい人
- (4) 水産政策や水産物流通に興味を持ち、水産政策と水産物流通・経済に関連する知識と技術について学び、水産流通業や食品産業、水産系公務員、水産系金融、水産系公的機関などで働きたい人
- (5) 水圏環境の保全に興味を持ち、赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染（人為的ネガティブインパクト）、水圏環境の保全と修復について学び、環境アセスメントや関連分野及び公的機関で働きたい人
- (6) 水産教員、海技士、またはグローバル人材として働くために必要な職業能力を強化し、地域社会に貢献したい人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力が必要です。
- (2) 専門科目修得のためには、各教育分野に対応した科目（生物、化学、物理、地学等）の学力が要求されます。これらの科目は1年次に習得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

3 入学者選抜の基本方針

普通高校から、水産学への意欲と勉学への潜在能力をもつ学生を受け入れるため、面接、小論文、出願書類に基づいて総合判定し選抜します。

共同獣医学部

教育目標

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師及び創造性豊かな研究者を養成し、幅広い見識と倫理観をもって人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに、社会のニーズに対応した人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出します。

入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

発展・進化する獣医科学及び畜産科学に取り組む知識欲と探求心、これを実践・活用する論理性と創造力及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた、次のような学生を求めています。

- (1) 獣医師の幅広い職責について理解し、獣医学を志す明確な目的意識を有する人
- (2) 動物を慈しみ、動物生命科学研究によって畜産資源の安定供給と安全性確保に貢献する目的意識のある人
- (3) 自然科学、人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し、獣医学・畜産学の知識や技術を十分に理解、修得するための基礎学力を身に付けている人
- (4) 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し、社会的にコミュニケーションがとれる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校で学ぶ教科・科目における基礎学力と思考力が必要になります。また、面接・プレゼンテーションにおいては自分の考えを論理的にまとめて明確に表現する能力を身に付けておく必要があります。

3 入学者選抜の基本方針

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ（専門高校等対象）

農業科、農業経営科、畜産科、食品科学科、生物工学科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科を対象に、高等学校の学習成績概評がAの者について、大学入学共通テストを課すことなく、個別テスト等で小論文及び面接を課し、基礎学力、志望動機、勉学意欲、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、適性を評価します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ（普通科等対象）

高等学校等において、理科または畜産・食品関連をテーマとした研究に関する活動を主体的に取り組み、学校内外いずれかで成果発表（インターネットを通じた発表も可）を行った経験を有する者について、大学入学共通テストを課すことなく、個別テスト等で小論文とプレゼンテーションを課し、基礎学力、志望動機、勉学意欲、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、適性を総合的に評価します。

※ 学科のアドミッション・ポリシーについては、以下の共同獣医学部ホームページを参照してください。
(畜産学科) <https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/departament/livestock/>

I 募集人員、対象となる高等学校の学科等及び推薦人員

学 部	学 科 等			募集人員	対象となる高等学校の学科等	高等学校からの 推 薦 人 員
法文学部	法経 社会 学科	法学コース		3人	全学科	各校から2人以内
		地域社会コース・ 経済コース		7人	商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは 総合学科	各校から2人以内
	人文学 科	多元地域文化コース		10人	全学科	各校から2人以内
		心理学コース		2人		各校から1人
教育学部 ※1	学校教育 教員養成 課程	中等 教育 コース	技術	2人	工業系、農業系、水産系、情報系あるいはこれらに準ずる学科	各校から2人以内
			家政	2人	家政科あるいはこれに準ずる学科、もしくは 総合学科	各校から2人以内
			音楽 ※2	2人	全学科	各校から2人以内
			美術	2人		各校から2人以内
医 学 部	保健 学科	看護学専攻		25人	全学科	各校から5人以内
		理学療法学専攻		4人		人数制限なし
		作業療法学専攻		4人		
工 学 部	先進 工学科	機械工学プログラム		2人	機械科、機械工学科、機械電子科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科	各校から2人以内
				6人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から2人以内
		電気電子工学プログラム		2人	電気科、電子科、情報科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科	各校から2人以内
		海洋土木工学プログラム		2人	全学科	各校から2人以内
農 学 部	農学科			12人	農業科、農業経営科、畜産科、園芸科、生物工学科、食品関連学科、林業科、森林関連学科、農業土木科、農業機械科、電気科、機械科、情報科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科	各校とも各科から5人以内
				5人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から3人以内
水産学部	水産学科			12人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から2人以内
共同獣医学部	畜産学科			4人	農業科、農業経営科、畜産科、食品科学科、生物工学科あるいはこれらに準ずる学科、もしくは総合学科	各校とも各科から2人以内
				2人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から1人

※1 教育学部への出願を希望する者は、本学ホームページに掲載している「こども性暴力防止法の施行に伴う留意点」を、必ず確認してください。

(URL) <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/> 本学 HP>入試案内>受験生向けの入試情報>「こども性暴力防止法」の施行に伴う留意点

※2 学校推薦型選抜Ⅰの教育学部中等教育コース音楽に出願した者は、学校推薦型選抜Ⅱの教育学部初等教育コース音楽には出願できません。

(注) 学校推薦型選抜Ⅰの入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に含めます。

(注) 対象となる高等学校の学科等に該当するかが不明な場合は、事前に各学部等入試担当係にお問い合わせください。

Ⅱ 出願資格等

次の各号に該当する者で、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）における学業成績・人物が優秀で、さらに高度の学業を修得する熱意と能力を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1 対象となる高等学校の学科に在学し、令和9年3月までに卒業見込みの者（教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術、家政、音楽及び美術にあっては、令和8年3月に高等学校を卒業した者も可とします。）

2 合格した場合は、入学することを確約できる者

- 3 次に掲げる学部・学科等にあつては、以下の推薦要件を満たす者

学部	学 科 等		推 薦 要 件
法 文 学 部	法経社会学科	法学コース	高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者
		地域社会コース・経済コース	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 なお、全国商業高等学校協会（全商）の簿記実務検定、情報処理検定のうちいずれかの1級又はそれに相当する資格を取得していることが望ましい。 (2) 総合学科については、商業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む。）者
	人文学科	多元地域文化コース	高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者
		心理学コース	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 (2) 心理学の修得に具体的な興味と熱意がある者
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	中等教育コース	技術 (1) 教員になる強い意志を有する者 (2) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAで、特に専門教科の成績が優れている者
			家政 (1) 教員になる強い意志を有する者 (2) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 (3) 総合学科については、家政に関する科目※を25単位以上修得した（見込みを含む。）者 ※学習指導要領の教科「家庭」に属する科目は「家政」に関する科目とみなします。その他の科目については、事前に文書により問い合わせること。
		音楽	(1) 教員になる強い意志を有する者 (2) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者
		美術	(1) 教員になる強い意志を有する者 (2) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上である者
医 学 部	保健学科	看護学専攻	(1) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者 (2) 看護学の修得に興味と熱意がある者
		理学療法学専攻	(1) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者 (2) 人物については、以下のいずれかに該当する者 ① 障害者や高齢者などを対象とした社会活動に強い興味をもつ者 ② 地域の活性化などに関する社会活動に強い興味をもつ者 ③ 部活動など学内の活動においてリーダー的な役割を果たしてきた者 ④ その他、他者と協働し、企画、実行する能力を有する者 (3) 理学療法学の修得に興味と熱意がある者
		作業療法学専攻	(1) 高等学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上である者 (2) 人物については、以下のいずれかに該当する者 ① 障害者や高齢者などを対象とした社会活動に強い興味をもつ者 ② 地域の活性化などに関する社会活動に強い興味をもつ者 ③ 部活動など学内の活動においてリーダー的な役割を果たしてきた者 ④ その他、他者と協働し、企画、実行する能力を有する者 (3) 作業療法学の修得に興味と熱意がある者

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

学部	学 科 等		推 薦 要 件
工 学 部	先進工学科	専門教育を主とする学科等	(1) 機械工学の勉学に意欲がある者 (2) 物理基礎、物理のうち、1科目以上を履修している者 (3) 学業成績・人物については、以下のいずれかに該当する者 ① 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 ② 高等学校在学中、課外活動などに熱心に携わっていた者 ③ ある分野（芸術・スポーツなど）に特に優れた能力又は資格を持つ者 ④ 模型、パソコン、機械などの分解・組立・操作などに熱意をもって取り組んでいる者 (4) 総合学科については、機械工学に関する科目を25単位以上修得した（見込みを含む。）者
		普通科等	(1) 機械工学の勉学に意欲がある者 (2) 物理基礎、物理（理数科は理数物理）のうち、1科目以上を履修している者 (3) 学業成績・人物については、以下のいずれかに該当する者 ① 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 ② 高等学校在学中、課外活動などに熱心に携わっていた者 ③ ある分野（芸術・スポーツなど）に特に優れた能力又は資格を持つ者 ④ 模型、パソコン、機械などの分解・組立・操作などに熱意をもって取り組んでいる者
		電気電子工学プログラム	総合学科については、電気・電子と情報に関する科目を25単位以上修得した（見込みを含む。）者
		海洋土木工学プログラム	(1) 海洋土木工学の勉学に意欲がある者 (2) 物理基礎、物理（理数科は理数物理）のうち、1科目以上を履修している者 (3) 学業成績・人物については、以下のいずれかに該当する者 ① 高等学校の「学習成績概評」がAである者 ② 高等学校在学中、課外活動などでリーダー的な役割を果たしてきた者 ③ 高等学校在学中、課外活動などにおいて特筆すべき成果を上げた者
	農 学 部	専門教育を主とする学科等	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 (2) 総合学科については、農業、林業、工業、情報に関する科目を25単位以上修得した（見込みを含む。）者
		普通科等	高等学校在学中に、理科又は農林業・環境・食品関連をテーマとした研究に関する活動を主体的に取り組み、学校内外いずれかで成果発表（インターネットを通じた発表も可）を行った経験*を有する者 ※成果発表の経験に関する内容を高等学校長の推薦書に含めること。
水産学部	水産学科		高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者
共同獣医学部	畜産学科	専門教育を主とする学科等	(1) 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者 (2) 総合学科については、農業、畜産、食品に関する科目を25単位以上修得した（見込みを含む。）者
		普通科等	高等学校在学中に、理科又は畜産・食品関連をテーマとした研究に関する活動を主体的に取り組み、学校内外いずれかで成果発表（インターネットを通じた発表も可）を行った経験*を有する者 ※成果発表の経験に関する内容を高等学校長の推薦書に含めること。

Ⅲ 入学者選抜方法

1 選抜方法

学部	学 科 等		選 抜 方 法	
法文学部	法経社会 学科	法学コース	小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。 調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料と します。	
		地域社会コース・ 経済コース		
	人文学科	多元地域文化コース		
		心理学コース		
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	小論文、実技検査、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜 します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。
			家政	小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。 調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料と します。
			音楽	実技検査、面接及び調査書（音楽実技活動の実績調書を含む。）の成 績の総合得点に基づいて選抜します。高等学校長の推薦書及び志望理 由書は選抜の際の基礎資料とします。
			美術	実技検査、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。
医 学 部	保健学科	看護学専攻	小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。 調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料と します。	
		理学療法学専攻		
		作業療法学専攻		
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム	小論文、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。	
		電気電子工学プログラム	面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。	
		海洋土木工学プログラム	小論文、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。	
農 学 部	農学科	専門教育を主と する学科等	小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。 調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料と します。	
		普通科等	小論文及びプレゼンテーションの成績の総合得点に基づいて選抜し ます。 調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書及びプレゼンテーション要 旨は選抜の際の基礎資料とします。	
水産学部	水産学科		小論文、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜します。 高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料とします。	
共同獣医 学 部	畜産学科	専門教育を主と する学科等	小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜します。 調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書は選抜の際の基礎資料と します。	
		普通科等	小論文及びプレゼンテーションの成績の総合得点に基づいて選抜し ます。 調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書及びプレゼンテーション要 旨は選抜の際の基礎資料とします。	

2 選抜方法等に関する配点

学 部	学 科 等		個別テスト等	配 点					総合 得点
				小論文	実技 検査	面接	調査書	プレゼン テーション	
法文学部	法経社会 学科	法学コース		200		100			300
		地域社会コース・ 経済コース		1000		400			1400
	人文学科	多元地域文化コース		300		200			500
		心理学コース		60		40			100
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等 教育 コース	技術	小論文、実技検査、 面接、調査書	100	100	150	50	400
			家政	小論文、面接	100		100		200
			音楽	実技検査、面接、 調査書		600	100	300	1000
			美術	実技検査、面接、 調査書		150	100	50	300
医 学 部	保健学科	看護学専攻		100		100		200	
		理学療法学専攻		100		100		200	
		作業療法学専攻		100		100		200	
工 学 部	先進工学科	機械工学 プログラム	専門教育を主 とする学科等	小論文、面接、 調査書	40		30	30	100
			普通科等		40		30	30	100
		電気電子工学プログラム		面接、調査書			70	30	100
		海洋土木工学プログラム		小論文、面接、 調査書	40		30	30	100
農 学 部	農学科	専門教育を主と する学科等		小論文、面接	60		40		100
		普通科等		小論文、 プレゼンテーション	50			50	100
水産学部	水産学科		小論文、面接、 調査書	100		100	50		250
共同獣医 学 部	畜産学科	専門教育を主と する学科等		小論文、面接	60		40		100
		普通科等		小論文、 プレゼンテーション	50			50	100

3 小論文・面接の実施日等

実施日 令和8年11月17日(火)

場 所 志願する学部・学科の検査場

※検査場案内図等の詳細は、受験票印刷時に「受験案内」(24頁5参照)で確認してください。

学部・学科等	時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
法文学部 法経社会学科 法学コース 地域社会コース・経済コース	9:30 集合		小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
人文学部 多元地域文化コース 心理学コース			小論文 10:00～11:30			面接 13:00～	
教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース							
技術		小論文 9:00～10:00		実技検査・面接 10:30～ ※1			
家政	8:30 集合	小論文 9:00～10:30		面接 10:50～			
音楽		実技検査 9:00～		面接(実技検査終了後)			
美術		実技検査 9:00～11:00		面接 11:20～ ※2			
医学部 保健学科 看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻			10:25 集合	小論文 10:45～11:45		面接 13:00～	
工学部 先進工学科 機械工学プログラム 専門教育を主とする学科等		小論文 9:00～10:40		面接 11:10～			
機械工学プログラム 普通科等	8:40 集合	小論文 9:00～10:40		面接 11:10～			
電気電子工学プログラム		面接 9:00～					
海洋土木工学プログラム		小論文 9:00～10:00		面接 10:30～			
農学部 農学科 専門教育を主とする学科等	8:40 集合	小論文 9:00～11:00				面接 13:00～	
普通科等		小論文 9:00～11:00				プレゼンテーション 13:00～	
水産学部 水産学科	8:40 集合	小論文 9:00～10:30			面接 11:30～		
共同獣医学部 畜産学科 専門教育を主とする学科等	8:40 集合	小論文 9:00～11:00				面接 13:00～	
普通科等		小論文 9:00～11:00				プレゼンテーション 13:00～	

(注) 検査終了時間は、受験者数により前後する場合があります。

※1 技術の実技検査を受験する者は、「Ⅷ受験上の注意7」をご確認ください。

※2 美術の面接を受験する者は、「Ⅷ受験上の注意8」をご確認ください。

IV 教育学部の実技検査

教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術、音楽及び美術の志願者には、次表の実技検査を課します。

1 学校教育教員養成課程中等教育コース技術

次のA～Eの5つの検査種目から1つを選択し、出願の際「中等教育コース技術実技検査受験種目届」に記入してください。なお、出願後の種目変更は認められません。

- A 木材加工
- B 金属加工
- C 栽培
- D 電気
- E 情報

〔受験上の注意〕

検査当日は、実技検査で着用する作業着（長袖と長ズボンであれば可、履物は動きやすい靴でサンダル等は不可）を持参してください。

2 学校教育教員養成課程中等教育コース音楽

1 器楽

ピアノ（A又はBを全員必須）

- A. 1. 次にあげる練習曲の中から任意の1曲を選び、演奏してください。

C. Czerny：40番練習曲、50番練習曲

F. Chopin：練習曲Op.10（ただし第3番、第6番は除く）

2. 自由曲1曲（ただし、緩徐な曲は除く）

- B. 自由曲1曲（ただし、緩徐な曲は除く）

※出願の際「中等教育コース音楽実技検査受験種目届」に作曲者名及び曲名（作品番号及び楽章を含む）を記入してください。

2 声楽（A又はBを全員必須）

- A. 1. 任意の歌曲1曲

2. オペラ又はオラトリオより任意のアリア1曲

- B. 自由曲1曲

※声楽A及び声楽Bは原語により演奏してください。また、出願の際「中等教育コース音楽実技検査受験種目届」に作曲者名及び曲名を記入し、ピアノ伴奏楽譜を提出してください。

（楽譜の右上に受験番号（6桁）及び志願者氏名を記入してください。なお、提出された楽譜は返却しません。）

3 ソルフェージュ（AとBのいずれも全員必須）

- A. コールユーブンゲン巻1より、No.48-No.85（原書番号）の中から、検査当日に指定します。（階名唱のこと。固定ド唱法、移動ド唱法いずれも可。）

- B. 聴音 単旋律の書き取りを行います。

上記の検査以外に、希望者はその他の楽器で受験できます。（自由曲1曲）

ただし、器楽（ピアノ）、声楽ともにBで受験するものは、その他の楽器を必ず受験してください。

（次頁につづく）

(前頁からつづく)

* 演奏はすべて暗譜とし、繰り返しを省きます。

【受験方法について】

器楽、声楽、その他の楽器については、以下の組合せのいずれかで受験してください。

*** ピアノと声楽のみで受験する場合**

1. (ピアノA、 声楽B)
2. (ピアノB、 声楽A)
3. (ピアノA、 声楽A)

*** ピアノと声楽とその他の楽器で受験する場合**

4. (ピアノA、 声楽B、 その他の楽器)
5. (ピアノB、 声楽A、 その他の楽器)
6. (ピアノA、 声楽A、 その他の楽器)
7. (ピアノB、 声楽B、 その他の楽器)

* その他の楽器での受験希望者は、出願の際「中等教育コース音楽実技検査受験種目届」に演奏楽器名、作曲者名及び曲名を記入し、楽譜を提出してください。(楽譜の右上に受験番号(6桁)、志願者氏名及び楽器名を記入してください。なお、提出された楽譜は返却しません。) 楽器は各自持参してください。

なお、マリンバ、ティンパニー等の大型楽器については、教育学部音楽科事務室に問い合わせてください。(TEL : 099-285-7901)

3 学校教育教員養成課程中等教育コース美術

実技検査

鉛筆による静物デッサン

〔受験上の注意〕

実技検査に関しての用具は、本学において準備します。

V 採点・評価基準

1 小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

学部	学 科 等		評価事項	
法文学部	法経社会 学科	法学コース	課題文を読ませ、その内容の理解と説明の論理性や表現力などをみます。	
		地域社会コース・ 経済コース	社会的な問題に対する関心や適切な論理の展開能力、基礎的な表現力を問います。	
	人文学科	多元地域文化コース	課題文を読ませ、その内容の理解と説明の論理性や表現力などをみます。	
		心理学コース		
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	これまでに学んだ技術に関する内容を基礎に、技術に対する見方・考え方を問います。
			家政	高等学校までに習った家庭科あるいはこれに準ずる科目を基礎に、生活についてのものの見方・考え方を問います。
医 学 部	保健学科	看護学専攻		人間の生命と社会的な課題や文化等に関する課題文を読み、読解力、思考力、表現力、知識などを問います。
		理学療法学専攻		
		作業療法学専攻		
工 学 部	先進 工学科	機械工学プログラム		修学上必要な数学・物理*の基礎学力を問うとともに、高等学校までに習った数学や理科などを基礎に論理的思考力や科学的発想の豊かさを問い、機械工学への意欲と適性を評価します。 ※数学の範囲は数学Ⅰ及び数学Ⅱ、物理の範囲は物理基礎とします。
		海洋土木工学プログラム		土木工学、海洋学を学ぶうえで必要な基礎知識、基礎学力、学習意欲を評価します。
農 学 部	農学科		専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。	
水産学部	水産学科		水産学を学ぶうえで必要な基礎的事項に関する理解力、あるいはトピックス的なものに関する理解力並びに考察力を問います。	
共同獣医学部	畜産学科		専門を学ぶうえで必要な知識を基礎として、課題に対して論理的に考察し表現できるかを問います。	

2 実技検査

次の学部・学科等で実技検査を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

学部	学 科 等			評価事項
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	木材加工、金属加工、栽培、電気、情報を検査種目とし、これらの基本的な作業等を課すことで、ものづくりに関わる技能等を評価します。志願者は5つの検査種目から1つを選択します。
			音楽	ピアノ、声楽、ソルフェージュ、その他の楽器（希望者のみ）を課し、音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみます。
			美術	鉛筆による静物デッサンを課し、美術の表現に関わる基礎的資質と能力をみます。

3 面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学 部	学 科 等		面 接 の 形 態			面接時間	評 価 事 項	
			個人面接	集団面接	面接員数			
法文学部	法経社会学科	法学コース	○	人	人 2～3	分 15	学習意欲、法と社会の関わりに関する関心、基礎的な表現力をみます。	
		地域社会コース・経済コース	○		2～3	10～15	社会の諸事象に対する関心と学習意欲をみます。	
	人文学科	多元地域文化コース	○		2～4	10	地域及び世界の諸文化に対する関心の高さ、学習意欲、基礎的な表現力などをみます。	
		心理学コース	○		3	10	調査書、高等学校長の推薦書及び志望理由書を参考にして、心と行動に関する関心度、学習意欲、論理性及び志望理由などを評価します。	
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育コース	技術	○		2～4	30	教職への意欲、適性等を評価します。この際、出願書類として提出した <u>高等学校長承認印のある</u> 製作物のポートフォリオも参考にします。
			家政	○		2～5	20	将来、中学校・高等学校の家庭科教育に携わる者としての意欲、適性等を評価します。
			音楽	○		2～5	15	教員志望への熱意、音楽の教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
			美術*	○		2～4	15	持参した <u>高等学校長承認印のある</u> ポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの、A4サイズ20ポケット以内のクリアファイルを使用すること）をもとに、美術の基礎的内容の理解、美術への興味・関心、勉学意欲の程度、教員志望への熱意などをみます。
医学部	保健学科	看護学専攻	○		3	10	看護学を学び、更に資格取得後、専門職として、保健・医療・福祉の推進に貢献していこうとする適性、能力及び意欲をみます。	
		理学療法学専攻		3	3	30	理学療法学又は作業療法学を学び、更に資格取得後それぞれの専門職として、保健・医療・福祉の推進に貢献していこうとする適性、能力及び意欲をみます。	
		作業療法学専攻		3	3	30		
工学部	先進工学科	機械工学プログラム	○		5	10	学習意欲、目的意識と適性について評価します。	
		電気電子工学プログラム	○		6	20	基礎学力、電気電子工学の一般常識、学習意欲、目的意識について評価します。	
		海洋土木工学プログラム	○		3～5	10～15	学習意欲、目的意識と適性を評価します。	
農学部	農学科（専門教育を主とする学科等）		○		3～5	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識（高等学校等で学習した内容）などを評価します。	
水産学部	水産学科		○		3～6	10～20	水産学を学ぶ意欲等について評価します。	
共同獣医学部	畜産学科（専門教育を主とする学科等）		○		3～4	15	志望理由書を参考にして行い、関心度、学習意欲、基礎知識などを評価します。	

（注）受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

（注）集団面接欄の数字は受験者数です。

※ 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のあるポートフォリオを検査当日に必ず持参してください。

4 調査書

学部	学 科 等			評価事項
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術	専門教科等の学習成績の状況、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、生徒会活動、学校外の活動、評価の高い資格、検定等の取得及び表彰・顕彰された諸活動について評価します。
			音楽	調査書の各項目における学校外の活動について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価することに加え、音楽実技活動の実績調書の評価が含まれます。
			美術	各項目について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム		各教科・科目等の学習成績の状況、高等学校での部活動、ボランティア活動等の諸活動の状況、出欠状況などの記載事項全般について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。
		電気電子工学プログラム		
		海洋土木工学プログラム		
水産学部	水産学科			各項目について、アドミッション・ポリシーに照らし合わせて総合的に評価します。

5 プレゼンテーション

次の学部・学科等でプレゼンテーションを課します。

学部	学 科 等		評価事項
農 学 部	農学科	普通科等	推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、5分間のプレゼンテーション及び10分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5人とします。 プレゼンテーションについては、PC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表又はポスター発表のいずれかを選択できます。 PCによる発表の場合、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターWindows OSに対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMIのみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMI ケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。インターネットへの接続はできません。 ポスター発表の場合、各自が持参したポスター（高さ110cm、幅180cm 以内）をボードに掲示して発表することとします。なお、掲示用のマグネットは本学で準備します。
		普通科等	推薦要件を踏まえ、これまでに取り組んできた研究成果について、PDF ファイルを用いた5分間のプレゼンテーション及び10分間の質疑応答により、論理的思考力、表現力、対話力、学習意欲等を評価します。なお、評価者（検査員）は3～5人とします。 プレゼンテーションについては、PDF ファイルを用いたPC（ノートパソコン、タブレット端末等）による発表とします。 PCによる発表は、各自が持参したPCをプロジェクターに接続して発表することとします。プロジェクターはWindows OSに対応しており、画面比は16：9を推奨します。接続端子はHDMIのみ可（VGA等は不可）としますので、変換機器等が必要な場合は、各自で準備してください。なお、HDMI ケーブル及びプロジェクターは本学で準備します。インターネットへの接続はできません。

VI 合否判定基準

- 各学部・学科等で実施する個別テスト等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。
なお、本学が課す個別テスト等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術においては、小論文、実技検査及び面接の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース家政においては、総合得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース音楽においては、実技検査、面接及び調査書の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術においては、実技検査及び面接の各得点が教育学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 工学部先進工学科機械工学プログラム及び海洋土木工学プログラムにおいては、小論文、面接及び調査書の各得点が工学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 工学部先進工学科電気電子工学プログラムにおいては、面接の得点が工学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 農学部農学科においては、総合得点が農学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 水産学部水産学科において、小論文及び面接の各得点が水産学部の定める基準に満たない場合、総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。
- 共同獣医学部畜産学科においては、総合得点が共同獣医学部の定める基準に満たない場合は、総合得点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
- 総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学 部	学 科 等		同 点 者 の 優 先 順 位				
法文学部	法経社会 学科	法学コース		1. 小論文			
		地域社会コース・経済コース					
	人文学科	多元地域文化コース		1. 面接			
		心理学コース					
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等 教育 コース	技術	1. 面接	2. 実技検査	3. 小論文	
			家政	1. 小論文			
			音楽	1. 実技検査	2. 調査書		
			美術	1. 実技検査	2. 面接		
医 学 部	保健学科	看護学専攻		1. 小論文			
		理学療法学専攻					
		作業療法学専攻					
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム		1. 小論文	2. 面接		
		電気電子工学プログラム		1. 面接			
		海洋土木工学プログラム		1. 小論文	2. 面接		
農 学 部	農学科	専門教育を主とする学科等		1. 小論文			
		普通科等		1. プレゼンテーション			
水産学部	水産学科		1. 面接 2. 小論文				
共同獣医 学 部	畜産学科	専門教育を主とする学科等		1. 小論文			
		普通科等		1. 小論文			

VII 出願手続

インターネットを利用した出願手続を行います。鹿児島大学のインターネット出願登録サイトにアクセスし、本学生募集要項の内容を参照しながら出願手続を行ってください。

【鹿児島大学インターネット出願登録サイト】

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>



なお、出願手続を完了するためには以下の①～③の手続きを全て行う必要があります。

①出願情報の登録

②入学検定料等の支払い

③出願書類等の作成・提出

インターネットでの出願登録や入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続完了となりません。必ず出願期間内に鹿児島大学で受理されるように出願書類を提出してください。
※出願期間内に書類の提出がない場合は、出願未完了（登録データ無効）となりますので、注意してください。

1 インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い

出願登録及び支払い手続期間 令和8年10月26日（月）9時～11月5日（木）17時

注「2 出願期間」に示す期間内に書類が鹿児島大学で受理される必要がありますので、それに間に合うように登録・支払いを済ませてください。

(1) インターネットによる出願情報の登録

① 事前準備が必要となる主な事項

・電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。登録された電子メールアドレスは、出願情報登録完了等の確認メールの送信に利用するほか、セキュリティコードの再通知の際にも必要になります。

・A4サイズの普通紙が印刷できるプリンタ

出願確認票や受験票の印刷に利用します。自宅にない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用してください。

・証明写真（顔写真）データ

上半身・脱帽・正面向きかつ無背景で出願期間から6か月以内にスマートフォンやデジタルカメラ等を用いて撮影したカラー写真で、データ容量が100KB以上5MB以下のjpg又はpngデータが必要です。顔写真の加工は一切行わないでください。

② インターネット出願登録サイトからの出願登録

パソコン又はスマートフォンから上記URLにアクセスし、注意事項等を確認のうえ、出願情報（選抜区分、志望学部・学科等、氏名、連絡先等）の登録を行ってください。

なお、受験番号及びセキュリティコードについては、翌年度5月に行われる入試成績開示において必要となりますので、大切に保管してください。

(2) インターネット出願登録サイトでの入学検定料等の支払い方法

事項	摘 要
入 学 検 定 料 及 び 成績開示請求手数料 (希望者のみ)	1. 入学検定料 17,000 円 成績開示請求手数料 1 選抜ごとに 500 円 (希望者のみ) ※上記のほか、1 回の出願登録につきサービス利用料が志願者負担として必要です。 2. 支払い方法 コンビニエンスストア、銀行 ATM (Pay-easy での支払い)、ネットバンキング、クレジットカードでの支払いが可能です。 3. 入学検定料等の返還について 既納の入学検定料等は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 入学検定料等を払い込んだが、出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合 (イ) 入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合 返還請求の方法については、本学ホームページ (https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/henkan.html) に掲載していますので、ご確認ください。 (返還請求期限: 令和 8 年 12 月 31 日 (木) 消印又はメール受信有効) なお、返還にかかる振込手数料は志願者の負担となり、実際の返還額は振込手数料を差し引いた金額となります。 また、入学検定料等の払込時のサービス利用料は返還対象外となります。

(3) インターネット出願登録サイトからアップロードが必要なもの (郵送不要)

事項	摘 要
証明写真 (顔写真) データ ※白黒 (モノクロ) 不可	インターネット出願登録後、登録完了メールに記載されている URL から、インターネット出願登録サイトに再度ログインし、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。

2 出願期間 (出願書類等の提出)

令和 8 年 11 月 2 日 (月) ~ 11 月 5 日 (木) 17 時必着 **※提出は郵送のみ**

※「3 出願書類等」の種類によっては準備に時間を要する場合がありますので、事前に十分確認してください。なお、上記期間より前に到着したものについては、出願期間初日に出願受付を行います。

3 出願書類等

(1) インターネット出願登録サイトから印刷する出願書類等

番号	出願書類等	摘 要
1	出 願 確 認 票	この出願確認票は大学に郵送する書類です。 出願内容等に間違いがないか確認し、入学検定料等の支払い後に A 4 用紙にカラー印刷したものを提出してください。 (注) 入学検定料等の支払い完了後は、出願確認票の変更ができなくなります。入学検定料等の支払い後に登録内容のうち、氏名やフリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、高等学校名・学科名、卒業年、共通テスト出願状況の修正を行う場合は、出願確認票の修正部分に 2 重線を引き、その上に訂正印を押して余白に正しい内容を朱書きしてください。 それ以外の内容 (選抜区分、志望学部・学科等) の修正がある場合は、出願登録を再度やり直し、誤った出願登録については出願書類等を郵送せず、上記返還請求を行ってください。
—	宛 名 ラ ベ ル	出願書類等郵送用として、市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) を各自で事前に準備してください。 宛名ラベルを A 4 用紙にカラー印刷し、準備した封筒の表側に貼り付けてください。

出願確認票及び宛名ラベルは、「1 インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い」がすべて完了するまでは印刷できません。

(2) 出願者が準備する出願書類等

志願する学部・学科等により提出する書類が異なるので、注意してください。

番号	出願書類等	摘 要	対象学部
2	調 査 書 等 (厳封されたもの)	文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成した調査書を提出してください。(原則としてA4、両面印刷) (注1) 調査書等は令和8年4月以降に発行し、厳封されたものを提出してください。 (注2) 出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合及び廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、「卒業証明書」に加え、「成績証明書」又は「単位修得証明書」を提出してください。 ただし、「成績証明書」又は「単位修得証明書」が提出できない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を代わりに提出してください。	全学部
3	高 等 学 校 長 の 推 薦 書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、高等学校長が作成し、押印のうえ厳封したものを提出してください。(A4、片面印刷) (注) 記載責任者は、担任教諭としてください。	
4	志 望 理 由 書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者本人が作成したものを提出してください。(A4、800字程度) (注) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術の志願者は様式が異なりますので、必ず手書きで作成してください。	
5	実技関係等書類 (ダウンロード印刷)	教育学部の中等教育コース技術の志願者は、本学所定の様式をダウンロードのうえ、次の書類を提出してください。 ①実技検査受験種目届 志願者本人が記入し提出してください。(A4、片面印刷)	教育学部 中等教育コース 技術
		教育学部の中等教育コース音楽の志願者は、本学所定の様式をダウンロードのうえ、次の書類を提出してください。 ①音楽実技活動の実績調書 高等学校長が作成し、押印のうえ厳封したものを提出してください。なお、実績調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状又は各種検定グレード証明書等の写し等を添付してください。(A4、片面印刷) ②実技検査受験種目届 志願者本人が記入し提出してください。(A4、片面印刷) ③楽譜 声楽、その他の楽器について必ず提出してください。 ※声楽: 楽譜の右上に受験番号(6桁)及び志願者氏名を記入してください。 ※その他の楽器: 楽譜の右上に受験番号(6桁)、志願者氏名及び楽器名を記入してください。	教育学部 中等教育コース 音楽
6	製 作 物 の ポ ー ト フ ォ リ オ	下記を参考に志願者本人が作成し、高等学校長が押印したものを提出してください。 なお、製作物は正課や課外活動に限らず、複数あっても構いません。 ・製作物のポートフォリオは1つの製作物につき、参考資料を除いてA4サイズで3枚以内(片面印刷) ・製作物(栽培植物等を含む)や製作過程の写真・図など ・製作過程の活動の様子(複数名で製作した場合は担った役割) ・その他の参考資料: 組立・部品図、回路図、コメント付きプログラムリスト等	教育学部 中等教育コース 技術
7	推薦要件に関わる 教 諭 の 推 薦 書 (ダウンロード印刷)	① 本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者の推薦要件が明確に判断できる内容を記載し、厳封したものを提出してください。(A4、両面印刷) ② 推薦書に関わる資料がある場合は、それを添付してください。 (任意様式、A4、両面印刷、2ページ)	工学部 先進工学科機械 工学プログラム
8	担 任 教 諭 の 推 薦 書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者の適性、学習意欲、能力等について判定できる内容を記載し、厳封したものを提出してください。 (A4、両面印刷、2～3ページ程度)	工学部 先進工学科 電気電子工学 プログラム

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

9	教育課程表等 (総合学科からの志願者のみ)	志願者が推薦要件で指定された科目を履修していることを確認するため、高等学校が作成する以下の資料を全て提出してください。 ① 高等学校の教育課程表 ② 推薦要件に該当する科目の授業計画 (他の授業内容が分かる資料でも代替可)	該当する学部等
10	プレゼンテーション要旨	志願者本人が作成し、提出してください。(形式自由、A4、2ページ以内) なお、図表を含んでも構いませんが、次の項目を必ず含めるようにしてください。 発表方法 (PC 又はポスター)、タイトル、学校名、名前、研究の背景と目的、実験方法、結果と考察 (19 頁を参照) 志願者本人が作成し、提出してください。(形式自由、A4、2ページ以内) なお、図表を含んでも構いませんが、自分の行った研究の重要性や内容が分かりやすくなるように記載してください。(19 頁を参照)	農学部 (普通科等) 共同獣医学部 (普通科等)

4 出願書類等の提出方法

入学志願者は、「3 出願書類等」を番号順に取り揃え、市販の角形2号封筒(240mm × 332mm)に入れてください。さらに、その封筒の表側にインターネット出願登録サイトから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。

提出は、一般書留・速達郵便に限りません。持参による提出は原則できませんので、郵便事情を考慮して早めに発送してください。ただし、出願期間より前に到着したものについては、学生部入試課で保管のうえ、出願期間初日に出願受付を行います。

日本国外から提出する場合は、上記宛名ラベルを貼り付けた封筒を国際スピード郵便(EMS)、国際宅配便(FedEx、DHL 等)のいずれかの専用封筒に封入して発送してください。

5 受験票の印刷通知及び受験案内等

令和8年11月10日(火)15時以降、インターネット出願登録サイトにログインすることで受験票を印刷することが可能です。受験票をA4用紙(縦向き)にカラー印刷し、検査当日に持参してください。

また、上記日時頃に出願手続の際に登録した電子メールアドレスへ「受験票印刷可能通知」を送信します。この通知には、検査場の案内や検査時間、受験上の注意事項等を記載した「受験案内」に関するお知らせも含まれていますので、必ず確認してください。

6 出願手続に関する留意事項

- (1) 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受理できませんので、十分点検して提出してください。
- (2) 改姓名等により現在の氏名が出願書類の氏名と異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行する証明書類を添付してください。
- (3) 出願書類の返却はできません。ただし、出願書類に不備があり、出願受付を完了できなかった場合に限り返却します。
- (4) 出願手続完了後に志望学部・学科等を変更することはできません。
- (5) 受験票は、受験後も入学手続が完了するまで大切に保管してください。
- (6) 出願書類の虚偽記載、改ざん、志願者本人が作成する書類について志願者以外の者により作成したことが認められる場合や剽窃等があった場合等、出願手続その他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

【出願書類提出及び問い合わせ先】 鹿児島大学学生部入試課入試係 (連絡先等は裏表紙参照)

※日本国外から提出する場合は、以下の宛先に発送してください。

Kagoshima University Admissions Division
1-21-24 Korimoto, Kagoshima, 890-8580, JAPAN
+81-99-285-7355

VIII 受験上の注意

- 1 受験者は、検査員の許可がなければ検査室又は面接控室に入出入りすることができません。
- 2 受験者は、縦向きのA4用紙にカラー印刷した「**本学の受験票**」を持参し、集合時刻までに指定された検査室又は控室に入室してください。
- 3 検査開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は、各学部の検査場本部に申し出てください。検査開始時刻に遅刻した場合は、検査開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、その科目等の受験を認めます。なお、遅刻の理由が交通機関の遅延・予定外の運休等の場合は、検査場本部に申し出てください。
- 4 面接又はプレゼンテーションを受験する受験者が検査開始時刻までに控室に入室していない場合は、面接又はプレゼンテーションの受験は認められませんので注意してください。
- 5 **本学が課す個別テスト等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。**
- 6 鉛筆（鉛筆キャップ、シャープペンシルも可）・消しゴム・鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し、検査中に他人の物品を借りたり、共用したり、検査に必要なない物品を持ち込んだりしてはいけません。
- 7 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術の実技検査を受験する者は、実技検査で着用する作業着（長袖と長ズボンであれば可、履物は動きやすい靴でサンダル等は不可）を検査当日に持参してください。
- 8 **教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のあるポートフォリオを必ず持参してください。**（ポートフォリオについては、18 頁を参照してください。）
- 9 **時計を使用する場合は、計時機能だけのものとします。**辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは使用できません。アラームや時報機能のついた時計は、検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。
- 10 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ、スマートグラス等）等の電子機器類は、検査室又は面接控室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に、これらをかばん等に入れず、身に付けていたり、手に持っている不正行為となることがあります。なお、検査時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し、検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。
- 11 検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし、検査中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合、検査時間の延長は認めません。
- 12 検査に際して不正行為（以下に例示のとおり）が認められた受験者については、その検査は無効とし、その後の受験を認めません。この場合、すべての成績が無効となり、合否の対象者とはなりません。状況によっては、警察への被害届を提出する場合があります。

【不正行為の例】

- 解答用紙等に虚偽の内容を故意に記入する行為
- カンニング及びそれを手助けする行為
- 解答用紙を検査室外へ持ち出す行為
- 定規・コンパス・電卓・そろばん・グラフ用紙の使用
- 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類の使用
- 検査員の指示に従わない等により検査実施に支障をきたす行為 など

- 13 検査時間中に検査員が写真票と受験者の顔を確認します。十分な確認ができない場合には、本人確認のための質問等を行うことがあります。マスクや眼鏡、帽子等を着用している場合は、不正行為防止のため、一時的に外すように検査員が指示することがあります。
- 14 令和8年11月16日（月）14時までに各検査場で検査室配置図等を掲示しますので、受験者は検査当日の集合時刻までに必ず確認しておいてください。ただし、検査棟内への立入りはできません。
- 15 検査当日は、必要に応じて昼食を持参してください。
- 16 検査当日は、公共交通機関を利用してください。自動車・バイク等による入構は禁止します。

—入学試験当日の実施に関しての注意点—

地震や風水害等の自然災害等により、当初の日程どおりに個別テスト等を実施することが困難であると本学が判断した場合、検査開始時間の繰り下げ、入学者選抜の延期、検査場の変更等の措置をとることがあります。

これらの措置を講じる場合は本学ホームページ (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>) に掲載します。

ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。

IX 合格者発表

令和8年12月4日（金）10時（予定）

本学ホームページ（<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。また、推薦を行った高等学校長あてに合否結果を送信します。

なお、合格者受験番号のホームページ掲載時刻前後は、回線の混雑により繋がりにくい場合があります。

電話・メール等による合否の問い合わせには一切回答いたしかねます。

【※重要※】

入学手続システムの導入に伴い、**合格者宛に合格通知書及び入学手続関係書類等の発送は行いません。**
合格者は合格者発表時に本学ホームページに掲載される「入学ガイドブック」に沿って速やかに入学手続を行ってください。

X 入学手続

1 入学手続期間

令和8年12月4日（金）～ 12月11日（金）17時必着 ※提出は郵送のみ

- (1) 入学手続は郵送（一般書留・速達郵便）のみ受け付けますので、入学手続書類を市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、その封筒の表側に入学手続システムから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。入学手続書類が上記期間内に本学で受理されるよう、余裕を持って準備してください。なお、本学に持参して入学手続を行うことはできませんので、ご注意ください。
- (2) 上記期間内に入学手続を行わなかった場合は、本学の学校推薦型選抜Ⅰ合格者としての権利が消失します。
- (3) やむを得ない事由により、上記期間内に入学手続ができない場合は、入学手続期間（最終日）の正午までに合格した学部を担当係（連絡先等は裏表紙参照）に電話連絡してください。
- (4) 合格者で特別の事由により入学を辞退する者は、高等学校長を経由して、具体的な辞退理由を記し、署名・捺印した「学校推薦型選抜Ⅰ入学辞退願」（本学学長あて・様式任意）を入学手続期間（最終日）の17時までに合格した学部を担当係に提出し、許可された場合に限り入学辞退を認めます。
- (5) 合格者は、上記(4)の手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて、本学又は他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）の個別テスト等を受験しても合格の対象とはなりません。

2 入学手続書類

主な入学手続書類として、卒業証明書（高等学校を卒業見込みで出願した者のみ。入学手続期間内に提出できない場合は後日提出）等があります。入学手続書類の詳細については、合格者発表時に本学ホームページに掲載される「入学ガイドブック」をご確認ください。

3 納付金の納入

(1) 入学金 282,000円

- ① 納入方法の詳細については、合格者発表時に本学ホームページに掲載される「入学ガイドブック」をご確認ください。

なお、次の場合には既納の入学金を返還します。

ア) 入学金を払い込んだが、入学手続しなかった場合

イ) 入学金を誤って二重に払い込んだ場合

- ② 入学金の免除又は徴収猶予を希望する者（日本学生支援機構が実施する給付奨学金の申請を希望する者を含む。）は、33～34頁を参照してください。入学手続時に入学金を払い込む必要はありません。なお、

入学手続後に入学を辞退する場合、入学料の免除又は徴収猶予の申請は無効となり、必ず入学料を納入していただくことになります。

③ 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(2) 授業料 半期分 267,900 円 (年額 535,800 円)

① 授業料は、免除申請中の者を除き、入学時に授業料振替口座 WEB 登録により登録された口座から、前期分を 5 月下旬に、後期分を 11 月下旬に、それぞれ引き落とします。

② 授業料の免除を希望する者（日本学生支援機構が実施する給付奨学金の申請を希望する者を含む。）は、33～34 頁を参照してください。

③ 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

④ 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

※ その他授業料の詳細については、合格者発表時に本学ホームページに掲載される「入学ガイドブック」及び本学ホームページや掲示物等での案内を参照してください。

XI 入学準備

学 部	学 科 等		内 容
法文学部	法経社会 学科	法学コース	合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を受講する機会を設けています。詳細については、入学手続システムに掲載します。
		地域社会コース・ 経済コース	合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、アドミッション・ポリシーに記載する「入学前に身につけておいて欲しいこと」を参照の上、自習を行ってください。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。
	人文学科	多元地域文化コース	合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を提供します。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。
		心理学コース	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中等教育 コース	技術 家政 音楽 美術
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム	合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を提供します。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。
		電気電子工学プログラム	
		海洋土木工学プログラム	
農 学 部	農学科		合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を提供します。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。
水産学部	水産学科		合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を提供します。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

学 部	学 科 等	内 容
共同獣医学部	畜産学科	合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、入学前教育を提供します。詳細については、関係書類を入学手続システムに掲載します。

XII 他の選抜への出願等について

- 1 一人の入学志願者が一つの年度において国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜に出願することができるのは、大学入学共通テストを課す選抜及び課さない選抜を含めて、一つの大学・学部に限られています。
なお、本学の学校推薦型選抜Ⅰにおいて不合格となった場合に備えて、本学の同一の募集単位（学科・課程・専攻等）が実施する学校推薦型選抜Ⅱ又は総合型選抜（自己推薦型選抜）に出願することができますが、両方に出願した場合、学校推薦型選抜Ⅰに合格し、入学手続を完了した者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ又は総合型選抜（自己推薦型選抜）の合格者となることはできません。
- 2 学校推薦型選抜で不合格になった場合に備えて、一般選抜（前期日程）で実施する大学・学部から1つ、一般選抜（後期日程）で実施する大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学又は他の国公立大学・学部の一般選抜の合格者となることはできません。
- 3 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学の学校推薦型選抜の合格者となることはできません。

XIII 個人情報の取扱いについて

- 1 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- 2 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については、本学の入学者選抜・合格者発表、学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためにのみ利用し、他の目的には利用しません。
- 3 国公立大学の一般選抜における合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、本選抜における合格者の個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号）及び入学手続状況を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

XIV 入試情報開示

○入学者選抜試験個人成績の開示

令和9年度入学者選抜試験に係る志願者の個人成績を次により開示します。

1 開示内容

(1) 試験成績

【得点】個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

【順位】総合得点による順位を開示します。

※ 各選抜区分において、総合的な判定を行っている学部・学科等については、得点の代わりに段階別評価を開示する場合や、順位を開示できない場合があります。

(2) 調査書

開示しません。

2 開示請求登録期間

入試成績開示請求登録は、インターネット出願登録サイト上で出願手続と同時に行う必要があるため、登録期間は各選抜区分のインターネット出願登録及び入学検定料支払い手続き期間に準じます。開示を希望する場合は、出願登録時に「入試成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。なお、この登録期間以外に開示請求登録を行うことはできませんので、注意してください。

3 開示期間

令和9年5月1日（土）～5月31日（月）

4 開示請求者

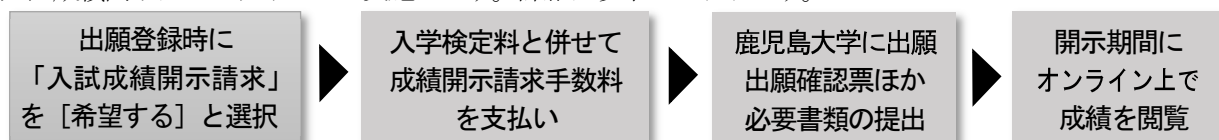
志願者本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）

5 成績開示請求手数料

1選抜ごとに500円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

6 開示請求の流れ

入試成績開示はオンライン上で実施します。詳細は以下のとおりです。



※ 開示期間中は受験番号・生年月日・インターネット出願登録時のセキュリティコードで専用サイトにログインし、入試成績を確認できます。詳細は令和9年4月下旬頃に掲載しますので、以下のURLからご確認ください。

入試成績開示案内ページ（URL）<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/kaiji.html>

7 その他の注意点

- (1) 令和8年度入試以前の個人成績については開示しません。
- (2) 上記開示期間外における成績開示は行いません。
- (3) 郵送、電話、メール及び学生部入試課の窓口での開示請求については受け付けません。
- (4) 開示期間中の閲覧状況にかかわらず成績開示請求手数料が発生します。期間中に閲覧しない場合でも既納の手数料の返還はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

○問題及び正解・解答例の公表

入学者選抜終了後、「問題」及び「正解・解答例」を本学が指定する時期に本学ホームページ（<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/kakomon.html>）で公表します。（国際バカロレア選抜を除く。）

なお、次の点に留意してください。

- 1 正解・解答例については「例示」であり、複数の正解・解答例があり得ます。
- 2 正解・解答例に代えて、出題意図を公表する場合があります。
- 3 本学の問題又は正解・解答例を利用（複製・譲渡）する場合は、所定の書類を学生部入試課に必ず提出してください。

XV 障害等のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

1 事前相談の申請期間

原則として、各選抜区分の出願期間開始日の 14 日前までとします。

2 事前相談の方法（申請書類、提出方法等）

本学ホームページの「障害等のある入学志願者の事前相談について」をご覧ください、事前相談の流れや申請書類等を必ずご確認ください。

（URL）<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/jizensoudan.html>

3 事前相談における留意事項

- (1) 事前相談の内容によっては、本学での試験実施までに対応が間に合わず、特別な配慮が講じられない場合がありますので、できるだけ早い時期に申請してください。
- (2) 出願を予定している複数の選抜区分・学部について同時に事前相談を行う場合、申請内容が同一であれば、事前相談書やその他申請書類等は 1 部のみの提出で差し支えありません。
- (3) 事前相談のための必要書類は、出願書類等に同封せずに別途送付してください。
- (4) 申請書類等受領後、内容等の確認のため、申請者に問い合わせを行う場合があります。

4 事前相談に関する問い合わせ先及び書類送付先

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21-24 鹿児島大学学生部入試課入試係

E-mail : nyushi@kuas.kagoshima-u.ac.jp TEL : 099-285-7355

（土曜日・日曜日・祝日・大学が指定する休日を除きます。）

XVI 学生寮、入学料・授業料免除、入学料徴収猶予及び奨学金等

次の項目の詳細については、鹿児島大学学生部学生生活課に問い合わせてください。

項目	担当係	電話番号
学生寮	学生企画係	099-285-7340
入学料・授業料免除、入学料徴収猶予	経済支援係（免除担当）	099-285-7312
奨学金	経済支援係（奨学金担当）	099-285-8154

※ 土曜日・日曜日・祝日・大学が指定する休日を除きます。

1 学生寮

本学には、学生の居住施設としての学生寮及び外国人留学生のための国際交流会館があります。

学生寮に入寮を希望する場合は、本人の申請に基づき選考を行い、経済的困窮度の高い者から優先的に入寮が許可されます。

なお、学生寮に入寮できる条件は、原則として、自宅から公共交通機関を利用して通学に 90 分以上を要する者です。

(1) 概要

令和 8 年 7 月現在

寄 宿 舎 名	唐 湊 寄 宿 舎		桜ヶ丘寄 宿 舎	
男 女 の 別	男 子 寮		女 子 寮	
建 物 名	A 棟	B 棟	唐湊女子寮	桜ヶ丘女子寮
収 容 定 員	76 人	92 人	81 人	99 人
寄 宿 料（月 額）	4,300 円	4,300 円	4,300 円	5,900 円
寮 構 造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 4 階建	鉄筋 5 階建
建 築 年 度	昭和 57 年	昭和 58 年	昭和 41 年 平成 13 年全面改装	昭和 49 年 平成 20 年一部改装
居 室 の 形 態	個室	個室	個室	個室
入居対象学部等	全学部 (大学院学生を含む。)		医学部・歯学部を除く 全学部 (大学院学生を含む。)	医学部・歯学部のみ (大学院学生を含む。)
寮から各キャンパスへの通学所要時間	※郡元キャンパスまで、徒歩約 15 分 ※下荒田キャンパス（水産学部）まで、徒歩約 30 分 ※桜ヶ丘キャンパス（医学部・歯学部）まで、バス、電車等を利用し約 1 時間			桜ヶ丘キャンパス内 (医学部・歯学部)
諸 経 費 (光熱水費など)	月額 12,000 円			
管 理 人 の 勤 務 時 間	平日 10 時～17 時		平日 9 時～17 時	平日 10 時～17 時
所 在 地	〒890-0081 鹿児島市唐湊三丁目 3-1			〒890-0075 鹿児島市 桜ヶ丘八丁目 35-1
その他設備等 について	食事なし（自炊可能） キッチン、トイレ、浴室、洗面所は共同 洗濯機、乾燥機を各階に設置			

※ 寮にはインターネット光回線が配線されていますので、インターネット（Wi-Fi）は各個人でインターネット業者（プロバイダ）と契約すれば利用できます（使用料は個人負担）。

※ 寮にエレベーターはありません。なお、バリアフリー化（スロープ、身障者用トイレ、手すり）については未整備です。

(2) 学生寮への入寮手続について

学生寮への入寮を希望する者は、次の内容を確認し、入寮者募集要項及び入寮願書を取得のうえ、申請してください。

① 入寮者募集要項及び入寮願書の公表 令和8年12月中旬

② 取得方法

●本学ホームページからダウンロード（A4用紙に印刷）

（URL）<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/ryou.html>

「鹿児島大学」→「入学希望」→「入学時の必要経費、奨学金等」の「学生寮」にアクセス

●郵送による請求

返信用封筒（「角形2号」封筒に180円切手を貼付し、請求者の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの）を同封のうえ、請求する封筒の表に「学生寮入寮願書請求」と朱書きし、令和9年1月21日（木）必着で下記⑤の担当部署に郵送してください。なお、必ず出願関係書類とは別に送付してください。

③ 申請受付期間

令和9年1月22日（金）～2月5日（金）17時必着

④ 入寮選考結果の通知

対象	通知日
一般選抜（前期日程）、総合型選抜（AO型選抜及び自己推薦型選抜）、学校推薦型選抜Ⅰ及びⅡ、国際バカロレア選抜、私費外国人学部留学生選抜、学部編入学及び大学院入学予定者	令和9年3月9日（火）
一般選抜（後期日程）	令和9年3月23日（火）

⑤ 担当部署

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-30

鹿児島大学学生部学生生活課学生企画係（共通教育棟1号館1階）

2 アパート・マンション・食事付下宿について

学生用のアパート・マンション・食事付下宿については、鹿児島大学生生活協同組合で紹介しています。

(1) 紹介時期 通年

(2) 場 所 鹿児島大学生協すまいの窓口（中央食堂の裏）

2月中旬～3月末は特設会場にて実施します。

以下のURL又は二次元バーコードよりご確認ください。

https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ku-coop/newlife/contents/contents_261.html

(3) 問い合わせ先 鹿児島大学生生活協同組合すまいの窓口 TEL：099-255-3427



インターネットでのお部屋探しについては「鹿児島大学生協お部屋探し」で検索いただくか、以下のURL又は二次元バーコードよりご確認ください。

○お部屋探しについて

<https://www.kyushu-u-coop.com/kagoshima-university>



また、鹿児島大学生生活協同組合では受験前からお部屋の合格前仮予約ができる制度を実施しています。制度の詳細については、鹿児島大学生生活協同組合すまいの窓口までご連絡いただくか、以下のURL又は二次元バーコードよりご確認ください。

○合格前仮予約について

https://coop.kyushu-bauc.or.jp/ku-coop/newlife/contents/contents_262.html



3 入学科・授業料免除

国の『高等教育の修学支援新制度』が定める授業料等減免制度に基づき、入学科及び授業料を減免する制度があります。この制度は、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された者に対し、奨学金の支援区分（Ⅰ～Ⅳ区分）及び多子世帯判定に基づき、入学科及び授業料を減免（減額又は免除）するものです。

4 入学科徴収猶予

経済的理由により納付期限までに入学科の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内に学資負担者が死亡した者、本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより、納付期限までに入学科の納付が困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考のうえ、入学科の徴収を一定期間猶予する制度があります。

なお、日本学生支援機構の給付奨学金を入学手続時点で申請中の者または入学後に申請予定の者は、給付奨学金の採用が決定するまで入学科の徴収が一定期間猶予されます。

入学科・授業料免除及び入学科徴収猶予の申請手続については、合格発表時に本学ホームページに掲載される「入学ガイドブック」でご案内するほか、本学ホームページ（教育・学生生活→学費・経済支援、授業料免除及び入学科免除・徴収猶予）にも概要を掲載していますので、必ず確認しておいてください。

5 奨学金

(1) 日本学生支援機構奨学金

学業・人物ともに優秀であって経済的理由により修学が困難と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、奨学金が貸与・給付されます。

奨学金の種類には、貸与奨学金と給付奨学金があります。

【貸与奨学金】（金額は令和8年度）

貸与奨学金には、「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、第一種・第二種の併用貸与も可能です。また、1年次において入学月を始期として奨学金の貸与を受ける者は、「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）」を併せて申請することが可能です。（編入生の場合は、編入学年月を貸与始期とする者のみ）

貸与奨学金	種別	貸与額
	第一種奨学金（無利子）	自宅通学：20,000円、30,000円、45,000円 自宅外通学：20,000円、30,000円、40,000円、45,000円、51,000円
	第二種奨学金（有利子）	20,000円～120,000円の間で1万円単位で選択可
	入学時特別増額貸与奨学金（有利子）	100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円

【給付奨学金】（金額は令和8年度）

給付奨学金は、『高等教育の修学支援新制度』の一つとして、令和2年度より新たに開始された返還義務のない奨学金です。貸与奨学金との併給も可能です。給付奨学金の受給者は、入学科及び授業料減免の対象となりますが、別途手続きが必要です。

給付奨学金	学種・世帯の所得金額に基づく区分	通学形態	
		自宅通学	自宅外通学
	第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円
	第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円
	第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円
	第Ⅳ区分	7,300円 (8,400円)	16,700円

※ 生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

また、第一種奨学金との併給の場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

※ 併給調整に伴う第一種奨学金の制限月額は、日本学生支援機構サイトでご確認ください。

(2) 鹿児島大学離島出身者支援スタートアップ奨学金

鹿児島県内の離島地域に所在する小学校、中学校又は高等学校を卒業し、鹿児島大学の第1年次に入学した学部生のうち、入学年度の本学前期分授業料免除を申請のうえ、許可された学生*に予算の範囲内で最大25万円を給付する制度です。

*ただし、支援区分「多子世帯」（授業料免除のみ）に該当する学生は対象外とします。

(3) その他の奨学金

日本学生支援機構のほかに、都道府県市町村奨学金や各種団体奨学金があり、本人が直接出願するものと大学を通して行うものがあります。

なお、団体等によっては、日本学生支援機構やその他の奨学金との重複採用を認めないことがあります。

6 保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険

体育実技や実験実習・課外活動中には、万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。

このような正課中、学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害（体育実技・課外活動中のケガ、実験中の火傷等）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中等担保特約付きとなっていて、通学中の事故についても補償されます。

その他、日本国内外において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償する制度として「学研災付帯賠償責任保険」があり、Aコース（正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復（Bコースの補償範囲を含む））、Bコース（インターシップ、教職資格活動等、ボランティア活動及びその往復）及びCコース（医療関連実習及びその往復（Aコース・Bコースの補償範囲含む））があります。

この保険は「学生教育研究災害傷害保険」に加入した者のみ加入でき、入学後、必要に応じて加入することになります。

学 部	保険料（掛金）	学 部	保険料（掛金）
法 文 学 部 教 育 学 部 理 学 部 医学部(保健学科)	「学生教育研究災害傷害保険」 3,300 円（4年間分）	医学部(医学科) 歯 学 部 共同獣医学部 (共同獣医学科)	「学生教育研究災害傷害保険」 4,800 円（6年間分） 「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340 円（1年間分） Bコース 210 円（1年間分） Cコース 500 円（1年間分）
工 学 部 農 学 部 水 産 学 部 共同獣医学部 （畜産学科）	「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340 円（1年間分） Bコース 210 円（1年間分）		

（注）保険料は、改定されることがあります。

詳しくは、鹿児島大学生生活協同組合（TEL：099-255-0131）に問い合わせてください。

(2) 学生総合共済・学生賠償責任保険

鹿児島大学生生活協同組合が扱っている24時間保障の「CO・OP 学生総合共済・学生賠償責任保険」は、学内外の日常生活で生じるスポーツ事故、交通事故、一時的な病気、その他について必要な補償が受けられる制度です。

詳しくは、鹿児島大学生生活協同組合（TEL：099-255-0131）に問い合わせてください。

7 入学時の必要経費

入学料 282,000 円、授業料（半期分） 267,900 円のほかに学友会費（4 年間分） 20,000 円 [医学部医学科、歯学部及び共同獣医学部共同獣医学科は（6 年間分） 29,200 円]、教科書代 15,000 円～30,000 円程度の所要経費が見込まれます。

その他、学部によっては、後援会費等の諸経費が別途必要な場合があります。詳しくは、各学部の担当係（裏表紙参照）に問い合わせてください。

※ 共同獣医学部共同獣医学科では、講義、演習及び実験・実習に伴う必要な交通費・宿泊費などの経費について、学生負担をお願いする場合があります。

高等学校長の推薦書

令和 年 月 日

鹿児島大学長 殿

高等学校名

学校長名

学校長印

記載責任者名

貴大学学生募集要項（学校推薦型選抜Ⅰ）に基づき、以下のとおり責任をもって推薦します。

志願学部	学部	志願学科等	学 科 課 程
			コース(教科名等:) 専攻 プログラム

フリガナ		高 等 学 校 の 学 科	卒業見込 科 卒 業
生徒氏名			

工学部先進工学科における推薦要件 (機械工学プログラム、海洋土木工学プログラム志願者のみ)		1 位		2 位	
--	--	-----	--	-----	--

推 薦 理 由	見 本				

(注)「高等学校長の推薦書記入上の注意」を参照のうえ、記載してください。(厳封、片面1ページ印刷、A4サイズ)

高等学校長の推薦書記入上の注意

1. 「志願学部」及び「志願学科等」欄について

- (1) 募集要項9頁に記載している学部及び学科等を正確に記入してください。
- (2) 「志願学科等」は、該当する学科等を○で囲んでください。
- (3) 「教科名等」は、教育学部学校教育教員養成課程中等教育コースの技術、家政、音楽、美術のいずれかを記入してください。

2. 「高等学校の学科」欄について

- (1) 高等学校の学科名を記入のうえ、「卒業見込」、「卒業」のいずれかを○で囲んでください。
- (2) 「卒業」に該当するのは、教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術、家政、音楽又は美術に出願する場合のみです。

3. 「工学部先進工学科における推薦要件」欄について

工学部先進工学科機械工学プログラム又は海洋土木工学プログラムの志願者は、次の要件のうち該当する番号を1つ又は2つ記入してください。なお、2つあがる場合は、その順位どおりに記入してください。

【推薦要件（機械工学プログラム）】

- ① 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者
- ② 高等学校在学中、課外活動などに熱心に携わっていた者
- ③ ある分野（芸術・スポーツなど）に特に優れた能力又は資格を持つ者
- ④ 模型、パソコン、機械などの分解・組立・操作などに熱意をもって取り組んでいる者

【推薦要件（海洋土木工学プログラム）】

- ① 高等学校の調査書の「学習成績概評」がAである者
- ② 高等学校在学中、課外活動などでリーダー的な役割を果たしてきた者
- ③ 高等学校在学中、課外活動などにおいて特筆すべき成果を上げた者

4. 「推薦理由」欄について

- (1) 推薦する理由を「学業」「人物」「課外活動（社会活動を含む。）」などの観点から具体的に記入してください。なお、それぞれの観点における記入すべき内容を以下に例示します。
「学業」：授業中の活動、勉学の自発性・計画性・持続性・理解力・創造的思考力等
「人物」：調査書の特別活動の記録欄などを踏まえた具体例等
「課外活動」：ホームルーム又は生徒会の役員、所属クラブ及びクラブ内での役割、クラブ活動の状況、校外での団体活動等
- (2) 本人の進学希望の理由（意志・意欲・熱意等）や生活態度、趣味、特技、在学中に取得した検定資格等、その他本人について特記すべき事項があれば記入してください。

5. 推薦書の提出について

- (1) 手書き又はパソコンでの作成いずれも可としますが、推薦理由の枠の大きさを変更することは認められませんので、推薦書は必ず片面（1ページ）で作成してください。
- (2) A4サイズに印刷し、学校長の公印を押印後、必ず厳封したものを提出してください。
- (3) 昨年度以前の様式、様式の改変や項目が不足している等、所定の様式と異なる場合、不備書類として取り扱い、受理しないことがありますので注意してください。

【A4サイズで印刷】

受験番号
※インターネット出願登録サイトから出力した出願確認票に記載の受験番号（6桁）を記入してください。

令和9年度 鹿児島大学 学校推薦型選抜 I

志望理由書

【教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術以外の学部・学科等】

フリガナ		高等学校名	
氏名		高等学校学科名	

【志願先情報】※学生募集要項（9頁）を参照のうえ、正確に記入してください。

学部名		学科名 課程名	
コース(教科)名 専攻名 プログラム名			

志望する理由 ※800字程度で記入し、右欄に文字数を記入してください。

字

見本

※本様式は追加せず、このページ内に収めてください。パソコンで作成する場合は枠の大きさやフォントサイズ等の書式設定を変更しないでください。

【A4サイズで印刷】

受験番号

※インターネット出願登録サイトから出力した出願確認票に記載の受験番号（6桁）を記入してください。

令和9年度 鹿児島大学 学校推薦型選抜Ⅰ

志望理由書

【教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース技術】

フリガナ		高等学校名	
氏名		高等学校学科名	

志望する理由 ※800字程度とし、手書きで記入してください。（A4、両面印刷）

10

20

見本

100

200

300

400

1000

実技検査受験種目届

【教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 技術】

受験番号	※インターネット出願登録サイトから出力した出願確認票に記載の受験番号（6桁）を記入してください。
フリガナ	
氏 名	

見 本

実技検査選択種目	下記A～Eのうち、必ず1つ選択し○で囲むこと。 A 木材加工 B 金属加工 C 栽培 D 電気 E 情報
----------	--

(注) 出願後の変更は認めません。

(注) 検査当日は、実技検査で着用する作業着（長袖と長ズボンであれば可、履物は動きやすい靴でサンダル等は不可）を持参してください。

音楽実技活動の実績調書

教育学部学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽

フリガナ				生年月日			
氏名				平成 年 月 日			
出身学校等							
都道府県		高等学校 中等教育学校 学 校		令和 年 月		卒業見込み 卒業	
受賞歴等の欄に記載する 音 楽 実 技 種 目							
主たる音楽系部活動・ 音 楽 系 団 体 名				通算経験 年 数			
部活動・団体役員経験				役職名			
受賞歴等	コンクール・演奏 会等の正式名称		年月	主 催 者	会 場	演奏楽器名・ 演奏パート名等	成 績 ・ 記 録 (詳しく記入してください。)
	[国際 全国 地方ブロック 県 他]		令和 年 月				
	[国際 全国 地方ブロック 県 他]		令和 年 月				
	[国際 全国 地方ブロック 県 他]		令和 年 月				
	[国際 全国 地方ブロック 県 他]		令和 年 月				
	[国際 全国 地方ブロック 県 他]		令和 年 月				
その他							
本書の記載事項に誤りがないことを証明します。 令和 年 月 日							
学 校 名		学 校 長 印		記載責任者		印	
所 在 地							
学 校 長 名							

本調書は、高等学校長が作成・押印のうえ、厳封してください。また、次頁「記入上の注意事項」を参照してください。
本調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状及び各種検定グレード証明書等の写し（A4サイズで印刷）を添付してください。

記入上の注意事項

- ※欄は記入しないでください。
- 受賞歴等の欄に記載する音楽実技種目は、個人で取り組んでいる実技種目や部活で担当している実技種目のうち、記載する受賞歴等に該当する種目を記入してください。
例：フルート、ピアノ
- 役職名は、部活動や音楽系団体において経験した部長・副部長・パートリーダー等を記入してください。
- 各種検定グレード等の取得者は、グレードレベル等を具体的に「その他」の欄に記入してください。また、そのグレードの証明書等の写しを本票とともに同封して提出してください。
例：ヤマハエレクトーン演奏グレード4級、カワイピアノグレードテスト5級
- 受賞歴等については、得意とする演奏分野や楽器について高等学校在学中に出場したコンクールや演奏会のうち（高等学校単位で出場したものだけに限りません。例えば個人参加のコンクールやリサイタル、学校外の音楽団体等の演奏会も含みます）、良い成績を修めたものや重要度が高いと判断するものを、次の記入例にならって、5つまで記入してください。

記入例（合唱、吹奏楽、ピアノ、声楽、外部音楽活動）

	コンクール・演奏会等の 正式名称	年月	主催者	会場	演奏楽器名・ 演奏パート名等	成績・記録 (詳しく記入してください。)
受賞歴等	第〇回全日本合唱コンクール 全国大会 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	令和 〇年 〇月	全日本合唱 連盟、朝日 新聞社	〇〇文化 会館	アルトパート	合唱部として〇賞受賞
	第〇回九州吹奏楽コンクール 高等学校A部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	令和 〇年 〇月	九州吹奏楽 連盟、朝日 新聞社	〇〇シン フォニ ー ホール	フルートパー ト	吹奏楽部として〇賞受賞
	第〇回南日本音楽コンクール ピアノ部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	令和 〇年 〇月	南日本新聞 社	鹿児島 市民文 化ホー ル第2	個人	〇賞受賞
	第〇回鹿児島県高等学校音楽 コンクール声楽部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	令和 〇年 〇月	鹿児島県高等学校 文化連盟、鹿児島 県高等学校教育研 究会音楽部会	霧島国 際音楽 ホール	個人	〇賞受賞
	第〇回MBCユースオーケス トラ定期演奏会 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	令和 〇年 〇月	MBC南日 本放送	鹿児島 市民文 化ホー ル第1	バイオリン パート	定期演奏会に出演。出演者数 80名。バイオリンパート20名。 〇〇作曲の交響曲第〇番とバ レエ音楽《〇〇》を演奏した。
その他 ヤマハエレクトーン演奏グレード4級（ヤマハ音楽振興会、令和〇年〇月〇日取得） 第〇回鹿児島県高等学校音楽コンクールにおいて優秀ピアノ伴奏者賞を受賞（鹿児島県高等学校 文化連盟、鹿児島県高等学校教育研究会音楽部会、霧島国際音楽ホール、令和〇年〇月〇日）						

- (1) コンクール・演奏会等は正式の名称を記入してください。[] 内は当該コンクール・演奏会等の規模について、該当するものを○で囲んでください。
- (2) 成績・記録は個人・団体など具体的に記入してください。定期演奏会等の発表記録は、演出・役柄等の役割、題名、出演者数等を明記してください。
- (3) 記載したコンクール・演奏会等の成績・記録を証明できるもの（賞状、プログラム等）の写しを本票とともに同封して提出してください。
- 6 その他の欄には高等学校時代の活動について、次のような項目に該当することがあれば、具体的に記入してください。また、それを証明できるもの（賞状、プログラム等）の写しを本票とともに同封して提出してください。
 - (1) 全国・地方・県選抜団体のメンバーに推薦又は選ばれた経験
 - (2) その他特筆すべき事項
- 7 本調書は、高等学校長が作成・押印のうえ、厳封し、封筒の表に「音楽実技活動の実績調書在中」と記入のうえ、他の出願書類とともに提出してください。
- 8 本調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状及び各種検定グレード証明書等の写し（A4サイズで印刷）を添付してください。

(A4 サイズで片面印刷)

令和9年度 鹿児島大学 学校推薦型選抜 I

実技検査受験種目届

教育学部学校教育教員養成課程 中等教育コース 音楽

受験番号	※ インターネット出願登録サイトから出力した出願確認票に記載の受験番号(6桁)を記入してください。
フリガナ	
氏 名	

ピアノ受験曲	A	1	作曲者名「 曲 名「 作品番号「 楽 章「	」 」 」 」
		2	作曲者名「 曲 名「 作品番号「 楽 章「	」 」 」 」
	B	作曲者名「 曲 名「 作品番号「 楽 章「	」 」 」 」	
その他の楽器 受験曲 (希望者のみ)			楽 器 名「 作曲者名「 曲 名「	」 」 」
声 楽 受 験 楽 曲	A	1	作曲者名「 曲 名「	」 」
		2	作曲者名「 曲 名「	」 」
	B	作曲者名「 曲 名「	」 」	

- (注) 1 ピアノは、A・Bいずれかを○で囲み、作曲者名、曲名、作品番号、楽章を記入してください。
2 その他の楽器での受験希望者は、その楽器名、作曲者名及び曲名を記入し、楽譜(楽譜の右上に受験番号(6桁)、志願者氏名及び楽器名を記入したもの)を提出してください。
3 声楽は、A・Bいずれかを○で囲み、作曲者名、曲名を記入し、楽譜(楽譜の右上に受験番号(6桁)及び志願者氏名を記入したもの)を提出してください。
4 ピアノ・声楽ともBで受験する者は、その他の楽器受験曲欄を記入してください。
5 出願後の変更は認めません。

推薦要件に関わる教諭の推薦書

【工学部先進工学科 機械工学プログラム】

フリガナ		フリガナ	
生徒氏名		記載責任者名	印
高等学校名		高等学校学科名	
※推薦要件に関わる資料（ 1. 有 2. 無 ）			

【推薦要件が明確に判断できる内容を記載してください。】（厳封、A4、両面印刷、2ページ）

見本

※手書き又はパソコンでの作成いずれも可とします。

見 本

受 験 番 号
※記入しないでください。

担任教諭の推薦書

【工学部先進工学科 電気電子工学プログラム】

フリガナ		フリガナ	
生徒氏名		記載責任者名	印
高等学校名		高等学校学科名	

【志願者の適性、学習意欲、能力等について判定できる内容を記載してください。】

(厳封、A4、両面印刷、2～3ページ程度)

見 本

※手書き又はパソコンでの作成いずれも可とします。

見 本

見 本



鹿児島大学 各学部等入試担当係の問い合わせ先一覧

学部地区	学部等	担当係名	所在地	電話番号
郡元キャンパス	学生部入試課	入 試 係	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目 21-24 E-mail : nyushi@kuas.kagoshima-u.ac.jp ※回答に正確を期すため、メールでの問い合わせを推奨しております。	099-285-7355
	法 文 学 部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21-30	099-285-7525
	教 育 学 部	教 務 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 20-6	099-285-7713
	理 学 部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21-35	099-285-8025
	工 学 部	学 生 係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21-40	099-285-3066
	農 学 部	農学学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21-24	099-285-8550
	共同獣医学部	獣医学学生係		099-285-3553
桜ヶ丘キャンパス	医 学 部	医学教務係	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目 35-1	099-275-6721
		保健学教務係		099-275-6724
	歯 学 部	歯学教務係		099-275-6040
下 荒 田 キャンパス	水 産 学 部	学 生 係	〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目 50-20	099-286-4040

【鹿児島大学入試案内ホームページ】

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/>



【学部入試についてのお問い合わせフォーム】

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/contact/exam.html>

